



平成 23 年 11 月 4 日

各 位

東 京 都 千 代 田 区 麴 町 三 丁 目 2 番 4 号
会 社 名 株 式 会 社 ス リ ー ・ デ ィ ー ・ マ ト リ ッ ク ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 高 村 健 太 郎
(コード番号：7777)
問 合 せ 先 取 締 役 岡 田 淳
電 話 番 号 03 (3511)3440

**当社共同プロジェクト『RPN2 標的核酸医薬によるトリプルネガティブ乳がん治療』
に対する厚生労働科学研究費補助金の採択のお知らせ**

当社と国立がん研究センター中央病院（藤原康弘 副院長）、同研究所（落谷孝広 分野長）と共同提案しておりました「RPN2 標的核酸医薬によるトリプルネガティブ乳がん治療」プロジェクトが、この度、平成 23 年度厚生労働科学研究費補助金（難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業）における、「国立がん研究センター Phase I センター早期開発研究」（5 年間の研究費総額 7 億 8 千万円）の一課題として採択されましたのでお知らせいたします。

乳がんは日本人女性の 30 人に 1 人の割合で発症しており、日本人女性が最もかかりやすいがんといわれています。乳がんのうちトリプルネガティブと呼ばれる症例では、通常用いられる治療法が効果を奏さないといわれており、「がん幹細胞」をターゲットとした根本的な治療が望まれております。核酸医薬はがんの根本的な治療薬として期待されるものの、ターゲットへのデリバリーが課題とされていますが、当社開発の界面活性剤様ペプチド A6K は、効果的なデリバリーキャリアとなることが過去の動物試験の実績により見込まれております。

本プロジェクトは、国立がん研究センター研究所にて、乳がんの「がん幹細胞」に特異的に発現することが見出された RPN2 遺伝子をターゲットとし、その発現を抑制する核酸医薬と当社開発のペプチド A6K をキャリアとした製剤について、トリプルネガティブ乳がんに対するファースト・イン・ヒューマンの医師主導治験の開始を目標とするものです。日本発の核酸医薬の推進役として期待されます。

今回の採択により、プロジェクトベースでの研究開発に対する補助金を受領する予定でありますので、現段階においては、本件による本年度以降の業績予想への影響はありません。

当社は本プロジェクトの研究開発を推進し、ペプチドの新しい用途可能性の探索、新規事業化に向け取り組んでまいります。

以 上